

新着！ 海の生き物レター

4年ぶりの搬入！

水族館  
01.8.31  
Vol.11-No.7



7月26日に「スマ」を搬入しました。スマはカツオやマグロに近い仲間で、あまり大きな群れを作らないことから漁獲量も少なく、大変おいしいので「幻の魚」とも呼ばれています。搬入は2015年以来の4年ぶり、近年スマの完全養殖に成功した愛媛大学南予水産研究センター、愛媛県農林水産研究所水産研究センター、愛南漁業協同組合の協力で実現しました。完全養殖は、天然資源に頼らない新しい養殖の方法です。今回の個体は実験途中の完全養殖のものではありませんが、水族館も環境に優しい展示を目指していきます。



イケスからの取り上げ方法は、かえしのない針を用いた「釣り」。網ではスマの体表を傷つけてしまうので、ダメージが少ない釣りを採用しました。



スマを運んだ大型の活魚トラック。水量3トン水槽が4槽搭載されています。体重約100gの個体100尾を陸路10時間かけて輸送しました。